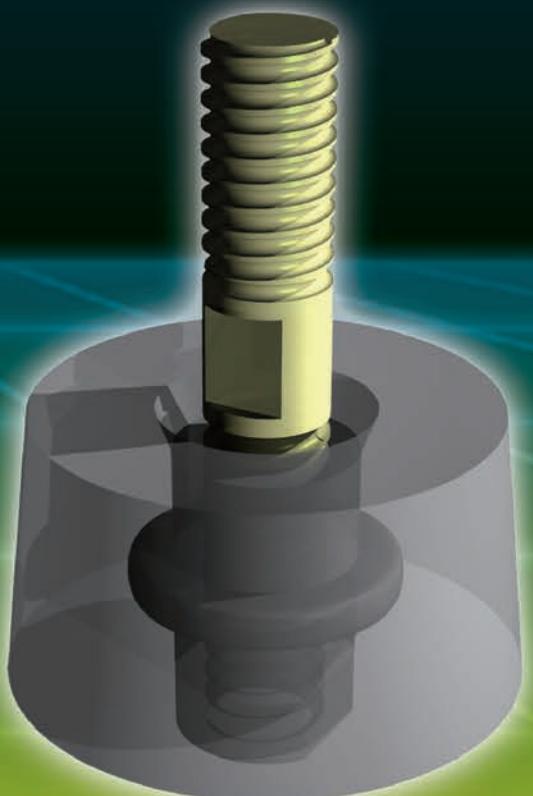


# e - コーン

型枠保持コーン（コンクリート打ち込み式）

*e* nvironment

&  
*e* conomy



# 経済性に優れ環境に優しく 安全性の向上と工期短縮を実現します。

## 環境対策

従来のプラスチック製コーンを使用しないため、産業廃棄物を一切排出せず、地球環境にとても優しい材料です。

## 工期短縮

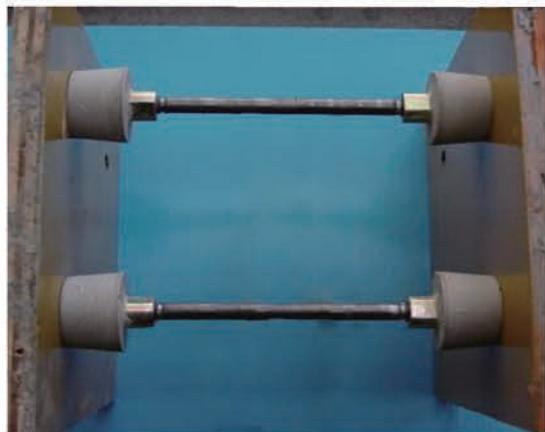
左官屋さんの後埋め作業が不要。  
専用キャップをはめるだけで、コンクリート打ち放し仕上げが可能です。

## コスト削減

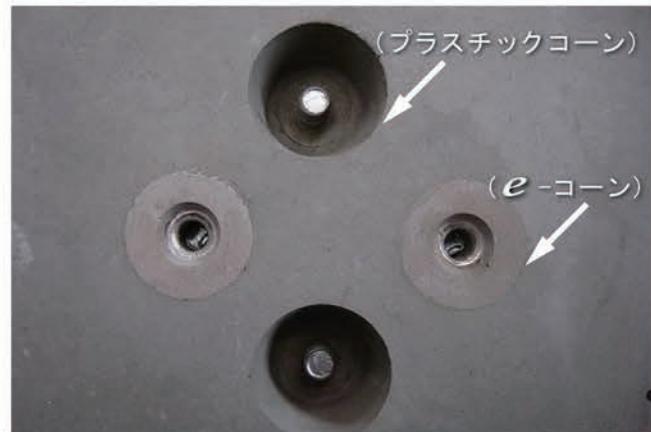
左官工、大工さんの作業を省人化。  
従来工法に比べ大幅なコスト削減が実現します。

# 品質特長

- 1、超高強度セメント（50N）の使用により**壁面の部分欠損がありません。**
- 2、アモルファスシリカの添付により打ち継ぎ面で強い防水効果が得られます。
- 3、e-コーン内のナットは仕上げ面から3mmセットバックし、  
また、メッキ処理されているため**中性化の影響を受けにくくなっています。**
- 4、逆テーパー構造のため抜け落ちるといった、**欠損はありません。**
- 5、ポリキャップにより穴埋め補修はワンタッチで済みます。
- 6、防水補修には**セラミックキャップ**を推奨します。  
一液型エポキシ性変性弾性接着剤の充填使用により密閉閉塞します。
- 7、破壊試験、漏水試験、クロスの膨れ等確認試験などを**実施済み**です。
- 8、プラスチックコーンとの同工程比較で**30～40%のコスト削減**が図れます。
- 9、産業廃棄物を出さないので、**環境に優しい製品**です。  
(プラスチックコーンは最終的に廃棄物となります)



写真一①型枠納まり



写真一②脱型後の比較

構造物の品質向上、コスト削減、施工時の環境対策にご活用頂けます。

# 種類

フラット



化粧



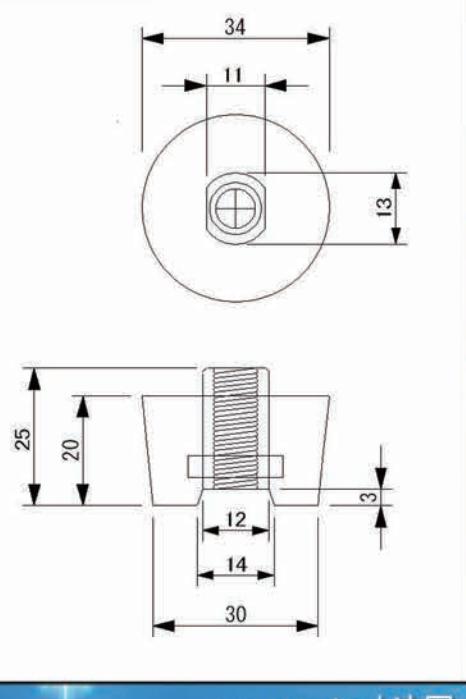
防水



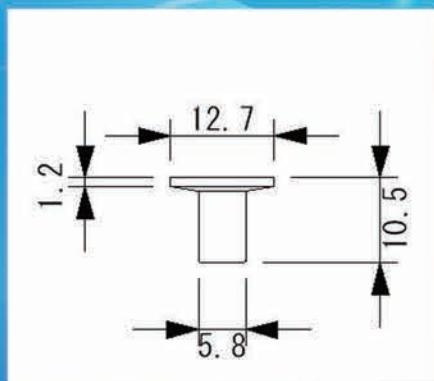
セラキャップ



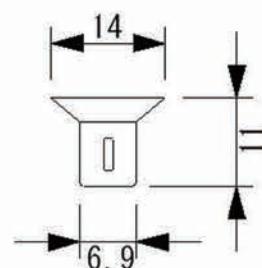
ポリキャップ



●e-コーン寸法図



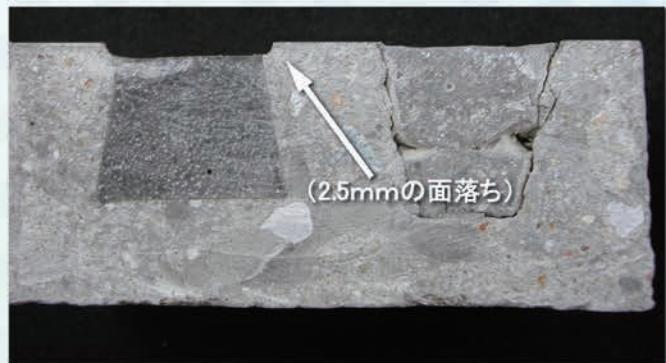
●セラキャップ寸法図



●ポリキャップ寸法図

軸足サイズは5/16と3/8が有ります。

## 化粧タイプ仕上げ・プラスチックコーン仕上げ 断面写真



## 現場工程写真

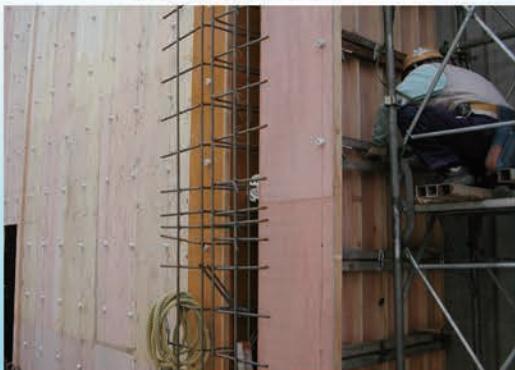
型枠組立て前



片面取付中



組立て作業中



型枠組立て後



脱型



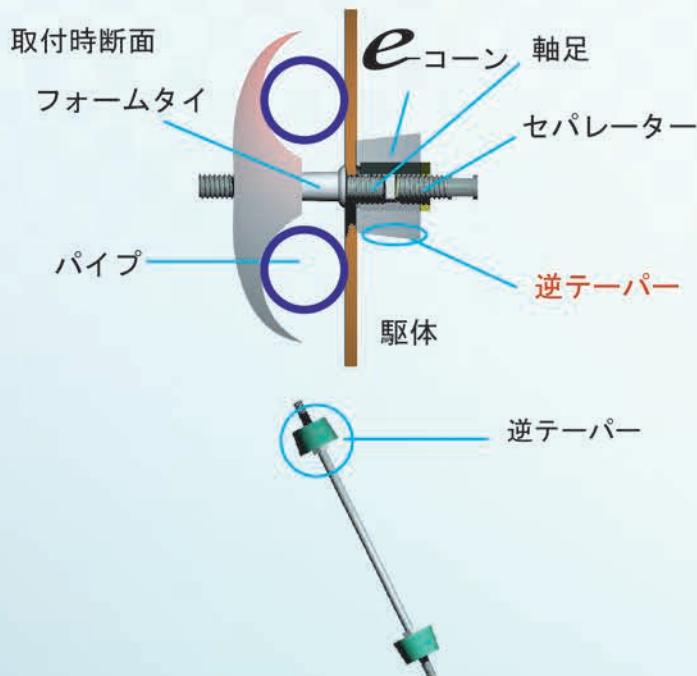
仕上り



# e-コーンとプラスチックコーンの比較

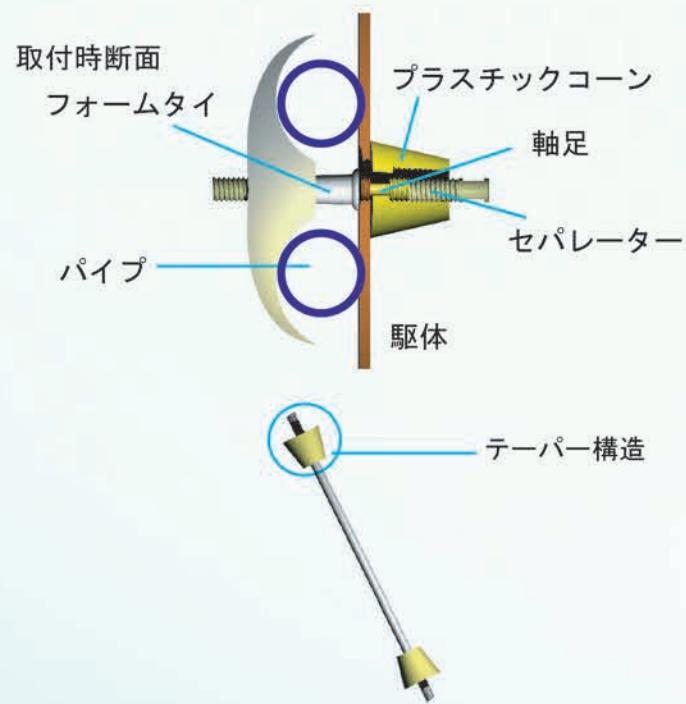
## e-コーン

### 型枠取付時



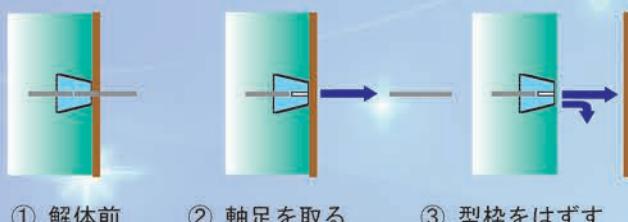
- ・逆テーパー構造とアモルファスシリカの反応により転体と一体化され脱落しない。
- ・使いきりのため、無駄な作業が発生しない。

## プラスチックコーン



- ・テーパー構造のため埋め戻し部の抜けと縁切れが発生するおそれがある。
- ・使いまわしが多いので取り付け時不良が出やすい。

### 型枠解体時



- ・電動工具使用により、軸足が容易に取り外せる。
- ・軸足を先に外すことで、狭い場所でも簡単に脱却できる。
- ・従来よりも型枠の損傷が軽減される。



- ・バールを使い型枠をこねて解体するため、型枠の損傷が早い。
- ・軸足が外せないため、解体作業に手間がかかる。

e-コーン

プラスチックコーン

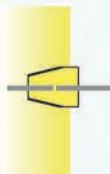
## 型枠解体後処理



① 穴の部分にキャップを埋める



② 完成



① コンクリート硬化  
養生待ちのため数日間  
放置する



② コンクリート硬化後  
プラスチックコーンを  
取り出す



③ モルタル埋め  
を行う（1日養生）

- ・型枠を取り外した後、キャップを埋めるだけで完成。（コンクリート打放し仕上の場合）
- ・大幅な工期短縮と工程管理がしやすい。

- ・モルタル収縮のため躯体との間に隙間が発生。経年劣化により、水漏れ及びセパレーターの酸化爆裂が懸念される。
- ・寒冷地では、モルタルの凍結融解の可能性もある。
- ・型枠解体後の作業日数が長い。

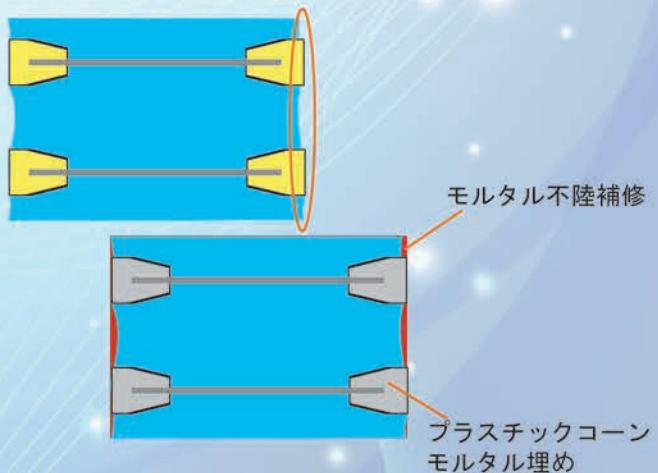
## コンクリート打放し仕上

仕上状態



- ・e-コーンと躯体のコンクリートが一体化され不陸が減少。
- ・e-コーンは、型枠接地面積が広いため、インパクトで締め付けても不陸（表面でのこぼこ）が発生しづらい。

仕上状態



- ・プラスチックコーン周囲に不陸が発生する場合がある。
- ・モルタルで不陸調整の必要がある。
- ・埋め戻すことにより、モルタル剥離の原因になる。

# - お取扱注意事項 -

- e-コーンの締め過ぎは型枠破損の原因となりますのでご注意ください。
- 作業所での保管時には、水漏れ・油付着等充分ご注意ください。
- ハンマー等による衝撃を与えるとコーンが破損する恐れがあります。
- セパレーターは従来の寸法でご利用いただけます。
- 軸足の使い回しは型枠破損の原因となりますのでお止めください。
- e-コーンは、必ず型枠に密着させてお使いください。
- コンクリート打ち放し仕上げには、専用セラミックキャップをご使用ください。
- セラミックキャップ仕上げには1液性変性弾性エポキシ系接着剤の充填が効果的です。
- 型枠解体時、全ネジソケットを使用し軸足を先に取り外すことで解体作業が容易に行えます。

□荷姿：1箱200個入（軸足付）  
□W350×L350×H120（mm）  
□重量：約11kg

販売店

製造元

大河株式会社

〒150-0011 東京都渋谷区東1-4-1尚豊ビル  
TEL:03-5469-3401・FAX:03-5469-3403  
<http://www.tiger-21.com/>